

PTA防災研修会

(1月30日)

飛驒市役所危機管理課の吉川慶様をお招きし、避難所について講義を聴きました。講義のあとは、飛驒防災士会の金田様、牛丸様からご指導をいただき、避難所体験をしました。テント、簡易ベッド、パーテーションを組み立てました。

災害が起きたら…と、何か準備しないといけないとか、避難する所はどこだ?とか、改めて考えることができました。

子どもの様子を考えると、どうしても他の人たちと同じ所に避難するのが難しいですが、自宅で何日かすごす方法もあるのを知ることができました。いざ災害が起きたら、まず避難所へ行くのか自宅に残るかという選択肢があるので、少し不安が減りました。

(小学部保護者)

ダンボールベッド、プライベート空間が保てるベッドとテント、すべて説明を受け実際組み立ててみましたが、ダンボールベッドも簡単に組み立てることができました。やはり床で寝るよりも断然良いです。古川中の壁に収納してある空間付きのベッドそして畳は温かみがありました。古川中にあるものはもっと市民に広めていただきたいです。一番いいのはテントかもしれませんが、古川だけでなく、神岡、河合、宮川と、すべての町にあるといいなと思いました。

障害のある子ども、大人、高齢者、子どもがいる家族…。いろいろなパターンを想像しながら話を聴くことができました。今回の研修、参加して良かったです。

(中学部保護者)

今回の研修で、福祉避難所が開設されるまでの空白の時間をどう生き抜くか、現実的に考えるきっかけとなりました。

環境の変化に弱い知的障がいのある子にとって、一般避難所での居場所作りや、住み慣れた「自宅避難」という選択肢は非常に重要です。

いざという時に地域の方々に特性を理解してもらえるように日頃からのつながりを大切にしながら、我が家なりの備えをしっかりと進めていきたいと思います。

(高等部保護者)

